

## 献呈のことば

河津八平先生は、めでたく古稀をお迎えになり、平成二〇年三月末日をもって退職されることになりました。先生は、下関市立大学経済学部教授を勤められ後、北九州市立大学に異動され、平成一四年同法学部教授を退職されたと同時に本法学部教授（同大学院法学研究科教授 兼任）に就任され、今日をお迎えになりました。

先生は昭和四六年に私法学会に入会され、この領域を中心に研究・教育をお続けになりましたが、本学では学部で民法・消費者契約法をご教授されつつ大学院法学研究科で研究指導を担当されました。平成一七年から一八年にかけては九州法学会の理事としてその運営にたいへんご尽力をいただきました。また、下関市個人情報保護審議会委員（委員長）を勤められたほか、北九州市消費生活審議会委員（副委員長）を勤められるなど、現在も幅広く活躍でございます。先生のご専門は民法でございますが、とりわけ製造物責任や消費者保護の法領域の発展に早くからご関心を抱かれ、ご研究を深められました。とくに近年は精力的に数本の論文を発表されるなど、ご研究に対する意欲はますます旺盛なものとなっておられるように拝察いたしております。その主要な論文である「製造物責任論・序説」（一九九三年）とその後の「アメリカ力厳格製造物責任」に関する諸論文（一九九四年～一九九九年）、および「消費者保護と特定商取引法」（①②③）、二〇〇六年～二〇〇七年）は学会で注目され、高く評価されております。

本学では、平成一七年から二年間法学部長（理事）の激職をお願いしました。大学を取り巻く環境が変化するなか、ますます多様な動機・目的をもって入学してくるようになってきた学生に対して、どのように教育していくことが必要であるのかという問題意識を鮮明にされつつ、法学部の教育改革にご尽力していただきました。

ここに、本書を献呈して先生のご功績を称え、たえず暖かい眼差しでわれわれをご指導してくださった先生にお礼申し上げますとともに、今後いつそのご健勝とご多幸を心から祈念申し上げます。

謹  
ん  
で

河  
津  
八  
平  
教  
授  
に  
捧  
げ  
る

執  
筆  
者  
一  
同